

「広島神楽」定期公演へようこそ!

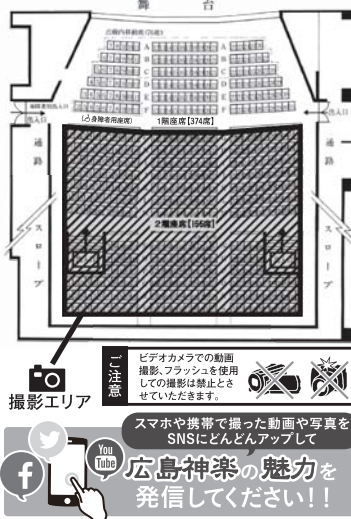
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※**ビデオカメラでの動画撮影、フラッシュの使用は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



8月22日のタイムスケジュール

出演：吉田神楽団 (安芸高田市)

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

(おおよそ 40分)

～幕間 (休憩)～

20:00～第二幕『紅葉狩』

(おおよそ 40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

よしだかくらだん

吉田神楽団プロフィール ～安芸高田市吉田町～

吉田神楽団は、毛利元就でおなじみの吉田町での神楽団であり、昭和47年結成の歴史の新しい神楽団です。

現在団員は23名、和気藹々とした中にも、常の神楽の本質を求め、日々練習に励み、活気あふれる神楽団になっています。

主な活動として、各地のイベント、秋のお祭りによる神楽奉納、神楽共演大会等に出演しています。

また、郡山子ども神楽団の育成にも力を入れ、郷土芸能・神楽の伝承と、更なる発展に力を注いでいます。団員一同精進していきたいと思っていますので、何卒ご声援のほどよろしくお願い致します。

第一幕『滝夜叉姫』(たきやしやひめ)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総(しもふさ)の国・相馬(そうま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、姫征伐の朝命を奉じ、下総の国へと向かいます。陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 西岡 隆典	大宅中将光圀 … 藤野 克洋	五月姫 … 沖田 憲幸
	小太鼓 … 波多野 八朗	山城光成 … 藤野 亮	(滝夜叉姫)
	手打鉦 … 正田 元気		夜叉丸 … 寺本 尚希
	笛 … 升田 美香		蜘蛛丸 … 西岡 保明

第二幕『紅葉狩』(もみじがり)

平安時代の中頃、武勇の誉れ高い信濃の守・中納言平維茂(たいらのこれもち)は、「信州・戸隠山に棲み、世の中に災いを及ぼしている『鬼女』を退治せよ」との勅命を受けます。

維茂主従は、戸隠の険しい道を登りますが季節は秋、艶やかに色づいた紅葉は陽を受けて燃えさかる炎のように美しい景色の中で、姫に化身した鬼女が「紅葉狩の宴(うたげ)」を開いていました。主従は誘われるまま宴の客となり、酔い伏してしまいます。

麗しき姫は、正体を現し取り食らおうとしますが、その時維茂が日頃より信心する八幡大菩薩の使神竹内ノ神が現れ鬼女を追い払い「神剣」を授けます。正気を取り戻した主従は、鬼女との戦いに挑み、退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 波多野 八朗	平維茂 … 藤野 亮	紅葉 … 城美 隆行	鬼女(大王) … 西岡 隆典
	小太鼓 … 正田 元気	従者 … 藤野 克洋	姫 … 沖田 憲幸	鬼女 … 寺本 尚希
	手打鉦 … 藤安 奈摘	八幡大菩薩 … 森 次武	姫 … 升田 亮	鬼女 … 西岡 保明
	笛 … 升田 美香			

※出演者は予告無く変更になる場合がございます。